

9月28日～互いの理解が深まる～ 舞鶴労使懇談会を開きました

去る9月28日勤労者福祉センター（溝尻）で、小西会頭をはじめ、安達・今安・一盛の3副会頭、瀬川専務理事が出席し、「日本労働組合総連合会京都府連合会北部地域協議会（連合京都北部地協）」の長柄舞鶴地区協議長ほか5人の役員の方々と「舞鶴労使懇談会」を開きました。

冒頭の挨拶で、長柄議長が「労使がパートナーとして協力し、舞鶴市の発展を目指す」と述べられました。これを受け、小西会頭からは、「目指すところは同じで、商工業の発展と、元気なまち、夢あるまちをつくること。従業員は企業活動の根幹であり、パートナーである」と応じて会議が始まりました。

会議では、まずそれぞれの事業説明や活動状況が紹介・報告されたあと、意見交換を実施。

主な内容は、日本経済や舞鶴市の現況等を踏まえながら「10月1日からの最低賃金の改定や職場での人材不足」などを中心に議論は進みました。労使としての互いの立場や理解を深めるとともに、将来に向けた連携の必要性が確認されるなど大変意義深い機会となりました。

なお、この労使懇談会は、長らく中断していたものを小西会頭が呼びかけて双方の協議を経て再開したものです。



労使懇談会で挨拶する小西会頭

舞鶴商工会議所の組織強化へ

「正副委員長」「常議員・部会長」会議を開催

商工会議所の役割は、会員の皆さんをはじめ、地域全体の声に対し、常に耳を傾け地域に密着するとともに、柔軟な調整力を持った「地域唯一の総合経済団体」として機能することにあります。そして、このためには、企画立案部門である7つの委員会と推進組織である10の部会が、その機能を十分に発揮することが必要です。

そこで、小西会頭の呼びかけのもと、去る9月28日に、「正副委員長と正副会頭との懇談会」を開催しました。この日は、常設の6委員会（総務・政策提言・産業振興・観光振興・自衛隊・会員サービス）から正副委員長が参加。会議所活動と地域経済の活性化に向けて意見交換を行いました。

この種の懇談会は、初めての開催で、舞鶴市を“元気なまち、夢あるまち”にするため

に、役員が情報を共有して、同じ方向に進むことを目的としています。意見交換では、小西会頭が進行し、各委員会からは今後の取り組みなどについて、考え方が述べられました。

また、10月19日には、「常議員・部会長合同会議」を開催しました。主な議題は、京都府と舞鶴市への「平成30年度商工施策に関する意見・要望」の取りまとめでした。10部会（機械金属・建設・製造・商業・情報サービス・交通運輸港湾・食料品水産・金融理財・料理飲食・環境サービス）の部会長または副部会長から、それぞれの部会でまとめられた意見・要望に関する説明がありました。これらの

意見・要望は、最終的に正副会頭と専務理事が取りまとめ、近く舞鶴市と京都府に提出する予定です。



正副委員長と正副会頭の会議は
9月28日に実施



10月19日に開催した
「常議員・部会長合同会議」